



第 337 回 KFR セミナー

## 船舶復原性基準と関連研究の国際動向

### ー 本年の国際船舶復原性ワークショップよりー

現在 I M O (国際海事機関) では、第 2 世代非損傷時復原性基準やコスタコンコルディア号事故を受けての船上復原性管理方法についての審議が進んでおります。このような技術的審議の学術的背景を定めるため、国際船舶復原性会議と同ワークショップが国際研究集会として定期的で開催されています。この 6 月には、ベオグラードで同ワークショップが開催されました。そこでこの会議への出席者が分担して、会議で得られた船舶復原性の研究と基準の最新動向について皆様に紹介することを企画いたしました。来年 9 月中旬には、この関西の地、神戸にて国際船舶復原性会議が開催されます。わが国でこの国際会議が開かれるのは、1982 年の東京以来であり、関西地区の研究者、造船技術者、船用機器技術者、運航技術者が中心的な役割を果たす好機ともいえるでしょう。この機会に、船舶復原性の基礎理論から基準応用まで、その最近の国際動向についての技術情報を皆様と共有し、皆様との議論により研究と基準の方向性を世界に発信する機会としたいと考えております。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 梅田 直哉

ー 記 ー

#### 第 337 回 KFR セミナー

- 日時：2017年8月1日 (火) 15:00~17:00
- 会場：大阪大学 吹田キャンパス 大阪大学コンベンションセンター 会議室 2  
大阪府吹田市山田丘 1-1  
<https://facility.icho.osaka-u.ac.jp/convention/map.html>
- 参加費：無料，要事前登録
- 講演プログラム
  1. 開会挨拶
  2. 第 2 世代非損傷時復原性基準 梅田直哉 (大阪大学)
  3. 船上復原性管理 橋本博公 (神戸大学)
  4. 確率論の応用 酒井政宏 (大阪大学学生)
  5. 漁船の復原性 松田秋彦 (水産工学研究所)
  6. 特殊船の復原性 片山徹 (大阪府立大学) ・ 牧敦生 (大阪大学)
  7. 閉会挨拶

ご参加のお申し込みは、7月25日 (火) までに下記連絡先までお願い致します。  
セミナー終了後、懇親会 (17:15 開始，微研食堂「Kitchen BISHYOKU」，一般=4,000円，学生=1,000円) も予定しています。こちらにもぜひご参加ください。お手数ですが，懇親会への参加希望についても合わせてご連絡をお願い致します。

連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会 (KFR) 事務局  
牧 敦生 (大阪大学大学院工学研究科)  
TEL : 06-6879-7579 FAX : 06-6879-7594  
E-mail : [maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp)

## 会場までのアクセス

(大阪大学 船舶海洋工学コース HP より転載)  
<https://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/access.html>



図1 吹田キャンパスまでのアクセス

(大阪大学 吹田キャンパスマップ HP より転載)  
<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/suita/suita.html>

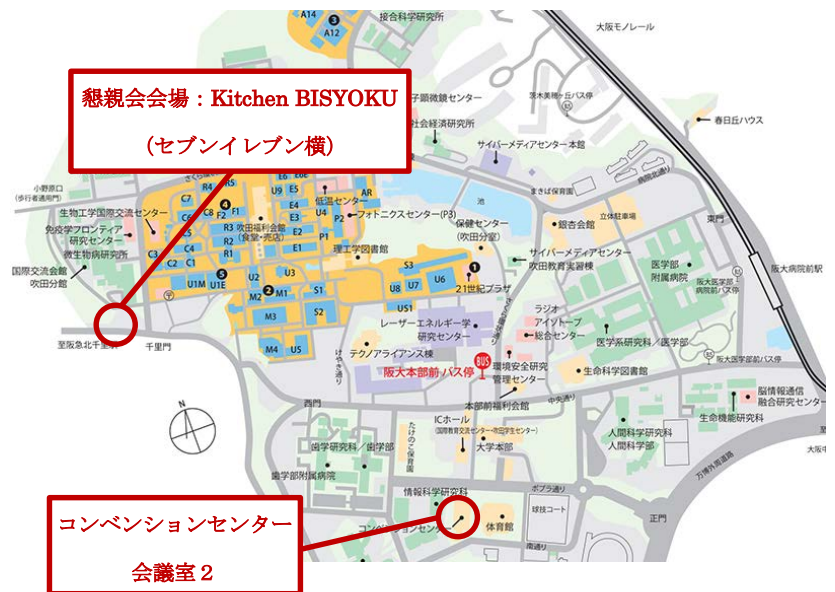


図2 会場および懇親会場へのアクセス

### ●電車・バスによるアクセス

大阪モノレール彩都線 阪大病院前駅より 徒歩15分

阪急千里線 北千里駅より 徒歩15分

JR茨木駅，茨木市駅から近鉄バスで「阪大本部前」下車（所要約30分）

北大阪急行線千里中央駅から阪急バスで「阪大本部前」下車（所要約20分）

「阪大本部前」より 徒歩5分

以上